

外国語

1 学習指導と評価の改善・充実

(1) 目標と指導内容との関連を十分に図った指導計画の作成

各学校が、学習指導要領に基づき、生徒に求められる英語力を育成するためには、学習到達目標を具体的に設定し生徒が身に付ける能力を明確化することにより、4技能を総合的に育成する指導の充実を図ることが重要である。このことを踏まえ、単元の指導計画の作成に当たっては、単元の目標と指導内容との関連を十分に図ることが大切である。ここでは、「教科書で学習した内容に自分で調べて得た情報を加え、事物の特徴や利点を話したり書いたりして説明する」事例として、「英語表現 I」における単元の指導計画の例を示す。この指導においては、単元の目標で示された内容が、単元の評価規準及び学習活動と相互に関連していることが重要である。

【単元の目標】【単元の評価規準】及び【学習活動、評価方法】が相互に関連していることが重要です。

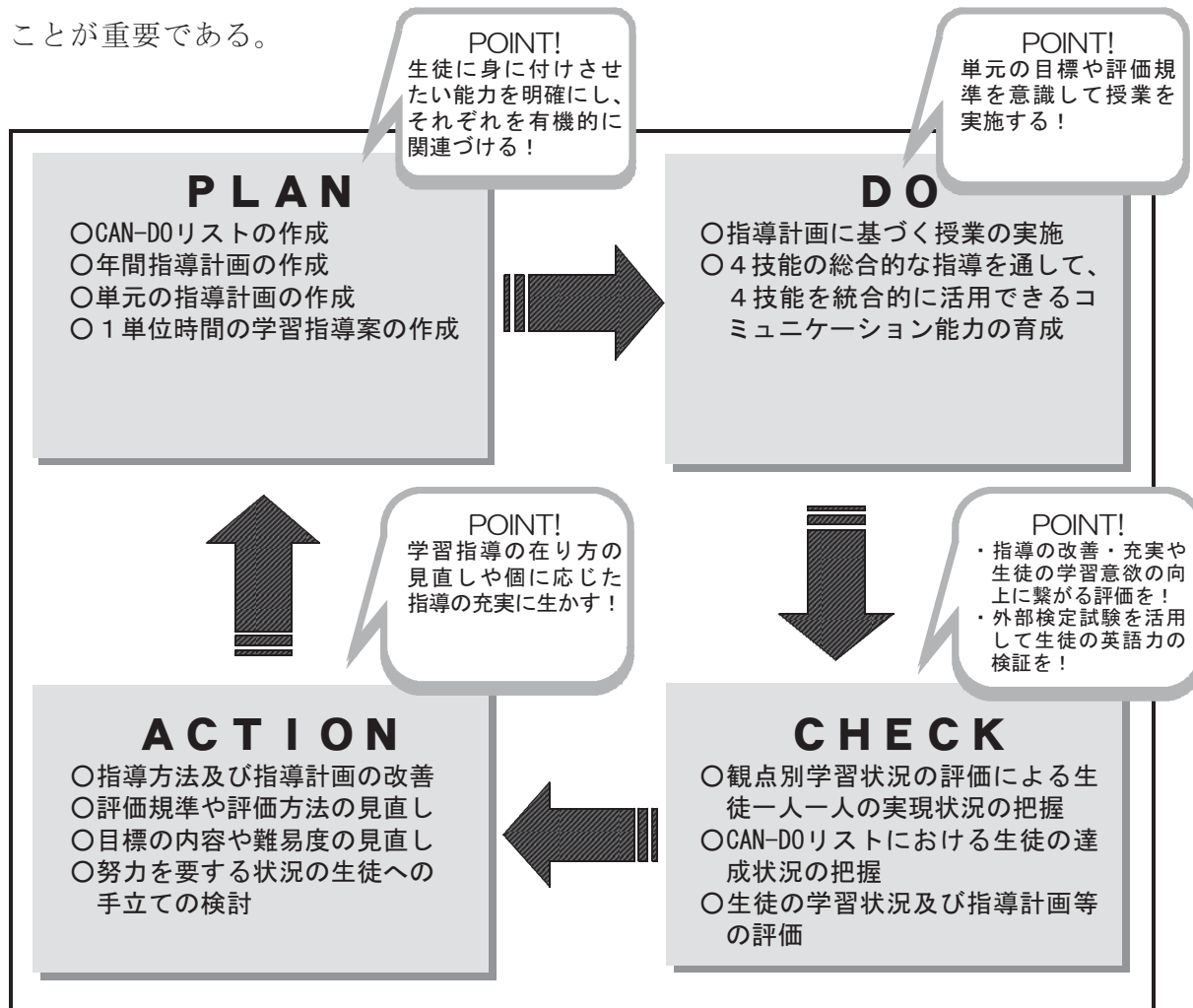
1 単元名 What Is the Greatest Invention?				
2 単元の目標				
<ul style="list-style-type: none"> ペア・ワークやグループ・ワークにおいて、得た情報や自分の考えを積極的に相手に伝える。 事物の特徴や利点を話したり書いたりして、聞き手や読み手に分かりやすく説明する。 thanks to ~及び enable ~ to ...が用いられた英文の意味や用法を理解する。 				
3 単元の評価規準				
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	
ペア・ワークやグループ・ワークにおいて、得た情報や自分の考えを積極的に相手に伝えようとしている。	事物の特徴や利点を話したり書いたりして、聞き手や読み手に分かりやすく説明することができる。		thanks to~及びenable ~to...が用いられた英文の意味や用法を理解している。	
4 単元の概要と言語活動				
本単元は、「20世紀における最大の発明は何か」という調査について紹介したものである。4つの発明品（telephone、dynamite、automobile、printing press）に関する英文を読んで得た事実や意見などに基づき、本単元で学習する表現を利用して事物の特徴や利点を説明する能力を養う。				
5 指導と評価の計画（全5時間）				
時間	ねらい・学習活動	言語活動に関する指導上の留意点	単元の評価規準	評価方法
第1次（1）	<ul style="list-style-type: none"> 取り上げられている4つの発明品や発明家に対する内容スキーマを高める。 4つの発明品が日常生活にもたらした変化について、グループで話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> イラストや写真等を用い、発明品や発明家に関する基本的な情報を与える。 話し合う際に必要となる語句や表現を、適宜、導入する。 	【関・意・態】	活動の観察
第2次（2）	<ul style="list-style-type: none"> thanks to~及びenable~to...の意味や用法を学習する。 本文を読み、各発明品の特徴や利点、自分の考えなどをワークシートに記入しまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りにある事物を説明した例文を示し、使用場面を意識させる。 読み取ったことを簡潔にまとめるためのワークシートを配付する。 	【知・理】 【関・意・態】	筆記テスト（後日） 活動の観察 ワークシート
第3次（2）	<ul style="list-style-type: none"> 4人グループで各自が担当する発明品を決め、その紹介を口頭で行う。 各グループで、4つの発明品のうち、最も偉大な発明は何かを話し合う。 グループで決めた最も偉大な発明品について各自が調べ、更に情報を得る。 教科書の内容に自分が調べて得た情報を加え、発明品を説明する英文のレポートを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文をそのまま読むのではなく、ワークシートを利用して要約させる。 本単元で学習した表現を効果的に活用し、英語で話し合うように指導する。 自分が得たい情報を項目立てし、整理してから調べるようにする。 英文を書くフォーマットを与え、文章の構成を意識しながら書かせる。 	【表現】 【関・意・態】 【表現】	Show and Tellによる発表 ワークシート 活動の観察 レポート

(2) 学習評価を通じた学習指導の在り方の検証と指導の改善・充実

ア 指導と評価の一体化

学習指導要領を踏まえ、4技能を総合的に育成し、外国語によるコミュニケーション能力、相手の文化的・社会的背景を踏まえた上で自らの考えを適切に伝える能力並びに思考力、判断力、表現力を養う指導を行うためには、外国語科担当教員等が全員で生徒の目標の達成状況を把握し、必要に応じて指導方法を改善する必要がある。

また、評価の妥当性及び信頼性を高める視点から、評価の方法も見直し、設定した目標が適切なものであったかどうかを検討し、必要に応じて、設定した目標の内容や難易度、目標の設定や評価を行う時期を変更するといったPDCAサイクルを確立することが重要である。



2 「確かな学力」を育成する取組の改善・充実

(1) 指導方法や指導体制の工夫改善による個に応じた指導の充実

外国語科においては、「聞くこと」や「読むこと」を通じて得た知識等について、自らの体験や考えなどと結び付けながら活用し、「話すこと」や「書くこと」を通じて発信することが可能となるよう、中学校・高等学校を通じて、4技能を総合的に育成する指導を充実するよう改善を図る必要がある。

四つの領域の課題や改善点のうち、本手引では「話すこと」と「書くこと」について具体的な取組の例を紹介する。

ア 「話すこと」：A 高等学校のスピーキングテストの実践例

【スピーキングテスト年間予定】

	「話すこと」の到達目標	スピーキングテストの内容
6月	簡単な自己紹介・質問ができる	<ul style="list-style-type: none"> 4つ以上の情報が含まれた自己紹介 自己紹介に関する英語による発問 「英語表現Ⅰ」の内容に即した2文程度の自己表現
9月	自分の考えを聞き手にわかりやすく説明することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 「英語表現Ⅰ」の内容に即したShow&Tell 英検準2級程度の英問英答
12月	ユニバーサルデザインについて話すことができる	<ul style="list-style-type: none"> 「英語表現Ⅰ」の内容に即したSkit形式のプレゼンテーション 英検準2級程度の英問英答
2月	自分の好きなこと、将来の夢等について話すことができる	<ul style="list-style-type: none"> 1分間スピーチ

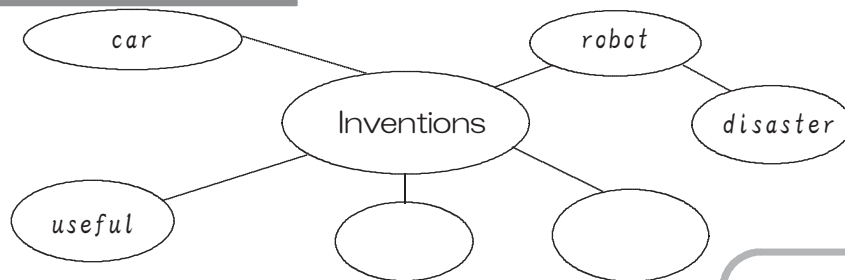
【実践例】

「外国語表現の能力」	評価規準 (話すこと)
	自分が考えた発明品の特徴や利点を話して聞き手にわかりやすく説明することができる。
<p>1 具体的な指導手順と実施内容</p> <p>(1) 自分の考えた発明品についてブレインストーミングをする。【参考1】</p> <p>(2) 自分の考えた発明品についての絵を描く。</p> <p>(3) 絵とキーワードだけを参考にして説明する内容を考える。</p> <p>(4) 聞き手が説明を聞いて質問し、話し手が回答する。</p> <p>(5) 聞き手が話し手の説明の評価を行う。【参考2】</p> <p>2 留意点</p> <p>(1) 説明する内容を考える際には、絵を描く時間を取りすぎないようにする。</p> <p>(2) 説明する際には、説明する原稿を見ないようにする。</p> <p>(3) 聞き手を意識した説明をする。(大きな声、アイコンタクト、わかり易さ等)</p>	

生徒のアイデアを生み出したり膨らませたりするために、ペアやグループで話し合うといった活動形態でブレインストーミングさせるなどの工夫が考えられる。

ワークシートには、キーワードやフレーズのみを記入させる。

Worksheet for brainstorming 【参考1】



【参考2】 Evaluation Sheet

	Your name	class
Self evaluation	Contents	A B C
	Big voice	A B C
	Eye contact	A B C
	Easy to understand	A B C
Comments	Contents	A B C
	Big voice	A B C
	Eye contact	A B C
	Easy to understand	A B C

生徒の自己評価や相互評価を自身の評価と照らし合わせることにより、指導の振り返りにつなげることができる。ただし、生徒による評価の結果を教員が行う生徒の評価資料として使うことはできない。

イ 学習指導要領のねらいに即した効果的な指導の実践例

学習指導要領の改善の基本方針に示されているとおり、「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」及び「書くこと」の4技能の総合的な指導を通して、生徒が4技能を統合的に活用できるよう、言語活動を充実させることが必要であることから、ここでは、「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」の言語活動を通して、「書くこと」を重点的に指導する例を示す。

「外国語表現の能力」	評価規準 (書くこと)	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。
------------	----------------	--

① スキーマの活性化（「聞くこと」と「話すこと」中心の活動）
 ア 教師がオーラルイントロダクションによって、教科書本文に関する基本情報を生徒に与える。
 イ 生徒が、本文で扱われている4つの発明品が日常生活に及ぼした影響について話し合いながら、内容についての興味・関心を高める。

② 教科書からの情報収集（「読むこと」中心の活動）
 ア 下記のワークシートを活用し、教科書から情報を効率よく整理する。
 イ 教科書から、英文をそのまま書き抜くのではなく、各発明品を説明するための最低限必要となるキーワードのみ記載させる。

Worksheet

	dynamite	automobile	telephone	printing press
Inventor				
Advantages				
Comments				

説明するために最低限必要となるキーワードを記載する。

③ 情報発信（「話すこと」と「書くこと」中心の活動）
 ア グループ内でワークシートに記載したキーワードを使いながら、各発明品について、口頭で説明する。（話すこと）
 イ 各グループで4つの発明品の中から、もっとも偉大な発明品を選び、それについて紹介・説明するため、教科書以外で調べた新しい情報も加えた英文を作成する。（書くこと）
 ウ 紹介・説明する際に情報の順番を変えたり、平易な表現に置き換える等、聞き手が理解し易い工夫をする。

(2) 「北海道高等学校学力向上推進事業」で作成した生徒用教材（平成25年度版）を活用した「書くこと」に関する指導の改善・充実の実践例

様々な種類の文章を書く活動の中から、ここでは、あるテーマについて自分の考えを論理的に表現する形式で、ある程度まとまった文章を書くことを指導する例を示す。

「外国語表現の能力」	評価規準 (書くこと)	与えられたテーマに沿って読み手や目的に応じて書く。
------------	----------------	---------------------------

Write an essay with more than 70 words in English.
 After you finish writing, write the number of words in your essay on the box at the bottom.

Theme

Do you agree or disagree with the following statement?
 It is better to live in a big city than in a small town.
 Use specific reasons and details to support your idea.

※ 次に示す評価規準（日本語）に基づいて採点されるので、参考にすること。

【ブレインストーミング】
 与えられたテーマについて、自分の主張を支えるアイデアをできるだけ多く出しておいて、そこから本当に良いものを選ぶ。
 ・リストアップ
 ・表
 ・マッピング など

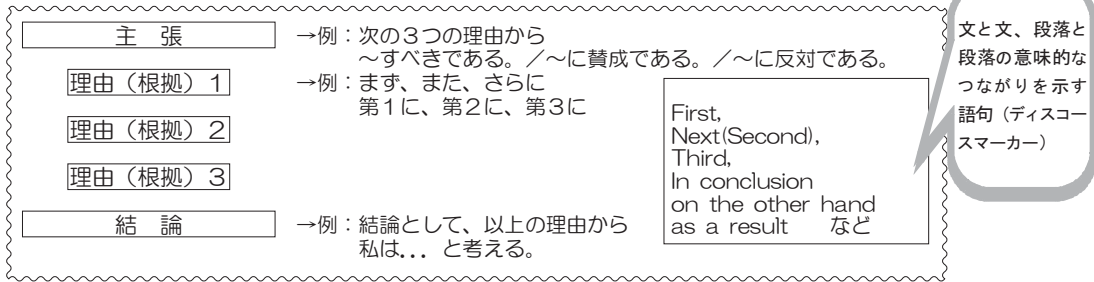
【評価規準】

評価の目安を生徒に示すことで、生徒は学習のめあてや学習の重点を明確に知ることができ、どのような点に注意すべきかを考えることにもなるので、学習の改善につながる。

生徒の学習状況を適切に評価することで、教師が指導の過程や評価方法を見直し、評価を指導の改善に生かす。

①タスクの達成度・表現の多様さ	②構成	③英語の正確さ
<ul style="list-style-type: none"> 指示に適切に対応しており(下の要素が含まれている)、表現が豊かである。 ①賛成・反対の意思 ②理由 <p>15点</p>	<ul style="list-style-type: none"> 序論、本論、結論という構成で筋が通っている。 指示語やディスコースマーカ一等を適切に使用し、各部分の流れも自然である。 <p>15点</p>	<ul style="list-style-type: none"> 冠詞や綴りの誤りは散見されるが、文構造や時制等の文法的な誤り、語彙の選択等の誤りは2つ以下である。 <p>15点</p>
<ul style="list-style-type: none"> 指示に適切に対応しており(下の要素が含まれている)、適切な表現を使用している。 ①賛成・反対の意思 ②理由 <p>10点</p>	<ul style="list-style-type: none"> 序論、本論、結論という構成で、指示語やディスコースマーカ等を使用しているが、不十分な点が見受けられる。 <p>10点</p>	<ul style="list-style-type: none"> 冠詞や綴りの誤り以外に、文構造や時制等の文法的な誤り、語彙の選択等の誤りが5つ以下である。 <p>10点</p>
<ul style="list-style-type: none"> 指示に適切に対応しておらず(下の要素が抜けている)、表現も不十分である。 ①賛成・反対の意思 ②理由 <p>5点</p>	<ul style="list-style-type: none"> 構成や、指示語、ディスコースマーカ等の使用が不適切であり、筋が通らない箇所が散見される。 <p>5点</p>	<ul style="list-style-type: none"> 冠詞や綴りの誤り以外に、文構造や時制等の誤り、語彙の選択等の誤りが6つ以上である。 <p>5点</p>

段落の構成



- ・全くテーマに沿っていない。 → 0点
 - ・指定された語数まで達していない。 → 10点減点(減点して0点以下となる場合は0点として扱う)
- 合計 45点

Topic

留学の促進について

文部科学省は、意欲と能力ある全ての日本の若者が、海外留学などの新しいチャレンジに自ら一歩を踏み出す気運を醸成することを目的として、平成25年10月より留学促進キャンペーン「トビタテ! 留学JAPAN」を開始し、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される2020年までに、高校生の海外留学を現在の3万人から6万人に倍増させることを目指しています。

こうした動きを踏まえ、グローバル人材の育成を推進する取組の一つとして、北海道教育委員会では、生徒・保護者・教諭等を対象に、高校生等に国際的な視野を持たせ、海外留学・大学進学への意識を高めさせるとともに、安心・安全に海外留学・大学進学を行うことを目的として、全道6会場において「留学フェア」を実施しています。

また、個人の海外派遣・留学(原則1年間)及び学校単位で行う短期研修(2週間以上1年未満)に対し、留学費用の一部を補助する高校生留学促進事業を行っています。

(<http://www.dokyojoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/kki/koukouseiryugakusokusinijigyori-furetto.pdf>)

Topic

スーパーグローバルハイスクール（SGH）の取組について AKB Future Project『世界の明日を創る』 ～未来のグローバル・リーダーの育成～

北海道登別明日中等教育学校

今年度、全国で56校がSGHの指定校として決定され、道立学校では、登別明日中等教育学校が指定を受けました。5年間の指定期間において、本校は、研究開発の構想として、「AKB Future Project『世界の明日を創る』」を設定し、世界の食糧問題をテーマとして、北海道大学、JICA等と連携しながら、課題研究、専門家によるワークショップ、海外でのフィールドワーク、探究型学習などを通して、国際的な対話力（外国人と積極的に意見交換をし、対話ができる力）、課題解決力（諸課題についての探究活動を通して、課題を発見し、解決する力）、情報発信力（世界の中での日本の立場や役割を理解し、日本の魅力を再発見し、情報発信する力）を柱とした未来のグローバル・リーダーを育成する提案型探究学習プログラムの研究に取り組んでいます。

北海道登別明日中等教育学校のウェブページ (<http://www.akebi.hokkaido-c.ed.jp/>)

Topic

英語以外の外国語教育の推進について

グローバル化の進展に適切に対応するためには、近隣のアジア諸国の言語をはじめ、英語以外のさまざまな外国語の教育についても重視する必要があります。平成26年度、道立高等学校（中等教育学校を含む。）では、10校で中国語、4校で韓国語、7校でロシア語の授業が行われています。

高等学校学習指導要領では、英語以外の外国語に関する科目について、「英語に関する各科目の目標及び内容等に準じて行うものとする」と定められており、各学校においては、その他の外国語を実施する場合、教科としての外国語の目標に基づき、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成することが重要です。

【参考】 A高校が学校設定科目として設定している「コミュニケーション韓国語」の単元の指導と評価の計画

1 単元名 「韓国と日本の学校の違い」				
2 単元の目標				
<ul style="list-style-type: none"> 教科書で読んだ内容やリサーチをして得た情報を活用して、グループの中で積極的に話す。 声の大きさや話す速度に注意しながら、調べたことを聞き手に分かりやすく伝える。 聞き手に分かりやすく伝えるために必要な表現方法についての知識を身に付ける。 				
3 単元の評価規準				
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	韓国語表現の能力	韓国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	
教科書で読んだ内容やリサーチをして得た情報を活用して、グループの中で積極的に話している。	声の大きさや話す速度に注意しながら、調べたことを聞き手に分かりやすく伝えることができている。	まとまった量の説明文を聞いたり読んだりして、概要や要点を的確に理解することができる。	聞き手に分かりやすく伝えるために必要な表現方法についての知識を身に付けている。	
5 指導と評価の計画（全6時間） 一部抜粋				
時間	ねらい・学習活動	言語活動に関する指導上の留意点	評価規準	評価方法
第1次 (2)	<ul style="list-style-type: none"> 韓国にある高校の校内外の行事に関する対話を聞く。 本文と類似した事物を紹介する内容を聞いて、概要を理解する練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 〈話題・概要把握→必要な情報の理解→聞き取った情報の確認〉という流れで3回聞かせる。※ワークシートを用いて、必要な情報だけを聞き取る。 	【理】	ワークシート
第2次 (2)	<ul style="list-style-type: none"> 各グループで自分たちが紹介する学校行事を決め、発表内容をメモ書きする。 	<ul style="list-style-type: none"> 書いた文章を読み上げるだけの活動にならないように、キーワードのみをメモする。 	【関・意・態】 【知・理】	活動の観察 ワークシート